

平成29年度消防研究センターの一般公開

消防研究センター

東京都調布市の同じキャンパス内に位置する消防研究センター、消防大学校、日本消防検定協会及び一般財団法人消防防災科学センターの消防関係4機関が共同で、4月21日（金）に一般公開を開催しました。この一般公開は、例年、科学技術週間（4月18日の発明の日を含む週）に、日頃行っている研究開発や毎日の防火安全につながる体験コーナーを紹介しているものです。

本年度も、26項目にわたる展示、うち10項目については燃焼実験などの実演を行い、地域の一般住民に加え、消防職員や防災関係企業など、722人の来訪者を迎えることができました。以下で、主な実演展示の様子を紹介します。

石油コンビナート施設などでは、大規模な火災・爆発事故が発生した際に、消防隊員が災害現場に近づけない場合が想定されます。そのような災害現場において、消防隊員が安全な場所からの情報収集、放水等が可能な消防ロボットの試作機を展示しました（写真1）。



写真1 地上走行型の偵察ロボットの展示

火災の延焼拡大要因のひとつである火の粉について、火の粉発生装置を用いて、有風下で火の粉を飛散させ、着火する様子の実演（写真2）を行いました。

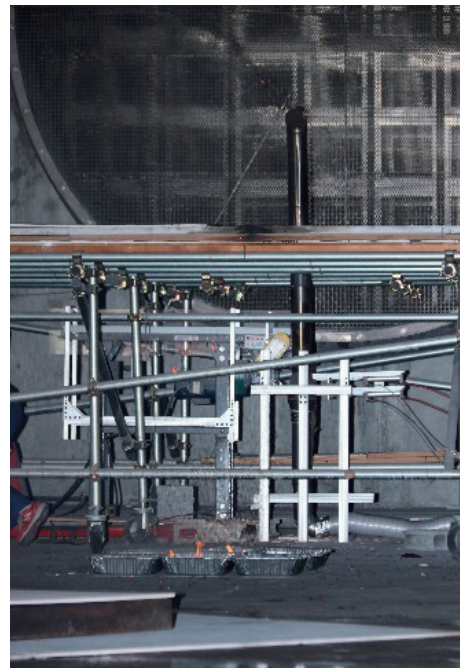


写真2 火の粉の加害性の実演
（中央上に伸びている縦のパイプが火の粉発生装置）

東日本大震災の課題を踏まえた、がれきや海水で立ち入りが困難な津波被害現場での消火・人命救助を行う消防車両の実演（写真3）を行いました。



写真3 津波被害現場用の消防車両の実演

泡消火のメカニズムを、燃焼状況がタンクの底や側面から観察可能な実験用小規模タンクでの実演を交えて紹介しました（写真5）。



写真5 石油タンク火災の泡消火技術の実演

直径1mの容器を用い、軽油を燃料として、燃える油が飛び散る燃焼現象（ボイルオーバー）を再現する実験（写真4）を行いました。



写真4 軽油の燃焼性状実験

来年度も、平成30年4月の科学技術週間に合わせて、一般公開を開催する予定です。開催の詳細については、消防研究センターのホームページ（<http://nrifd.fdma.go.jp/>）をご確認ください。

問合わせ先

消防庁消防研究センター
TEL: 0422-44-8331（代表）